

審査の基準とそのポイント

1 主題（表現の適切さ、新鮮さ）

- (1) 主題に新しさがあり、興味を喚起するものであるか。
- (2) グラフは、主題を適切に表現しているか。
- (3) 主題に対する掘り下げ方は適切か。

2 資料（適正な選択と加工）

- (1) 資料の選択は適切か。
- (2) 資料の理解に誤りはないか。
- (3) 資料の加工、解析は正しく行われているか。
- (4) 第1、2部については、自己観察、調査に創意工夫の跡が見られるか。また、観察、調査の方法が明らかであるか。
- (5) 資料の出所を明記しているか。

3 グラフの表現技術

- (1) 理解しやすい表現か。
- (2) 文字や図のバランス（レイアウト）及びレタリングは良いか。
- (3) 配色は適切か。
- (4) 見出しは適切か。
- (5) 客観的に、作品が作成者の能力に応じているか。また、明らかに指導者の技法的介入があったと思われないか。
- (6) グラフの選択は適切か。
- (7) グラフの描き方に誤り又は不適切なものはないか。
- (8) 誤字、脱字はないか。
- (9) 各数値は整合しているか。
- (10) グラフと文章表現に不一致はないか。

4 創作性及び全体の印象

- (1) 全体の美観は良いか。
- (2) 見る人に好ましい印象を与えているか。
- (3) 見る人が容易に理解できるか。
- (4) 創意工夫の跡が見られるか。

5 各部別基準

- (1) 第1部・第2部、第5部（うち小学4年生以下の作品）
子供らしい身近な課題をとらえて、ふさわしい観察・調査をし、グラフに表しているか。
- (2) 第3部～第6部
 - ア 統計データを正しく理解して、グラフ化することによってデータのもつ事象が理解されやすくなるよう、工夫されているか。
 - イ 訴えたい主題が的確にグラフに表れているか。また、主題は斬新で興味を喚起するものであるか。